



# 大東企業株式会社 業務内容紹介

daito corporation

---

## ■ 大東企業の仕事 ① 施工対象物の種類

こんにちは！大東企業 工事部の島崎(写真)です。みなさん、我々をとりまく自然を思い浮かべてください。空、海、大地、木々・・・自然にはそれぞれ独自の色があります。もし、すべてのものが黒く色味のないものであったら・・・我々の社会は暗く沈んだものになることでしょうか。大東企業のしごとは、「色使い」の知識と技能により、地域に根ざした良質で魅力ある景観づくりで社会に貢献していくことです。「色使い」の区分は大きく分けると下記のようになります。



### リフォーム

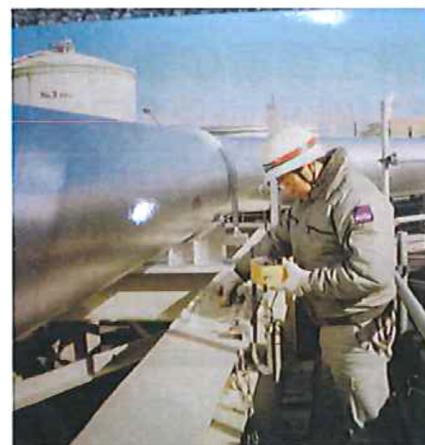
#### ① 建築塗装(総合改修工事)

マンション等集合住宅、オフィスの外壁化粧直しや屋上の防水、内装仕上げを包括的に行ないます。大規模改修工事から個人宅の部分改修工事まで工種・規模も様々。



#### ② プラント等設備塗装

鋼構造物塗装と比較的領域が広がるが、主に製鉄所等の生産設備の修繕塗装を担う。当社ではJFEスチールの東日本製鉄所内に営業所を置き、常駐修繕を行なっています。



#### ② 鋼構造物塗装

橋梁・鉄塔・煙突、はたまた港湾クレーンまで鋼で構成されているストラクチャーならなんでも塗ります。工種工程は建築塗装に比べて少ないがスケールの大きい塗装となることが多いのが特徴です。



#### ④ アスベスト対策工事

アスベストは昭和60年(1985年)に使用が禁止された耐火建材です。昨今、中皮種発症の原因として世間を非常に騒がせていますが、当社では相談→診断→除去までワンストップで工場・オフィス・マンションと様々なケースに対応しています。



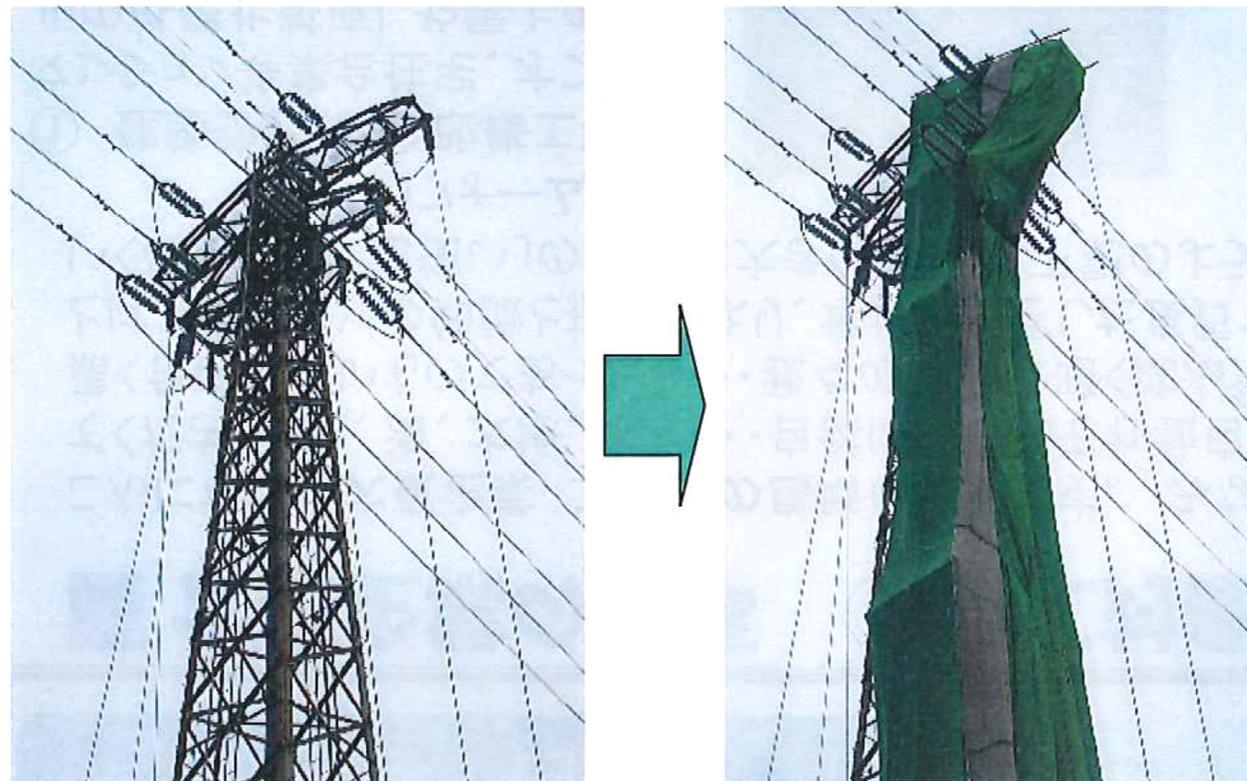
## ■ 大東企業の仕事 ② 塗装工事の工程紹介

さて、ここからは大東企業の基幹工種である塗装の工程について、工事部 伊藤(写真)がザックリと説明していきたいと思います。対象となる構造物によって工程は多岐にわたりますが、ここでは電力系鋼構造物塗装の1つである送電鉄塔の塗装工程を例に挙げて説明していきましょう。



### ① 飛散防護処理

まずは塗装対象物以外の周辺構造物に塗装施工中のケレン粕(後述)や塗料が飛び散らぬように防護ネットを展開します。建築内装仕上げでは養生・マスキングがこれにあたります。



### ② ケレン(素地調整)

飛散防護終了後、塗料塗布の前処理であるケレンを行います。ケレンとは劣化した古い塗膜を削り落とす作業のことで、構造物や新塗膜の寿命に影響する重要な工程です。建築塗装ではケレンの代わりに水による高圧洗浄を行います。



# 仕事内容

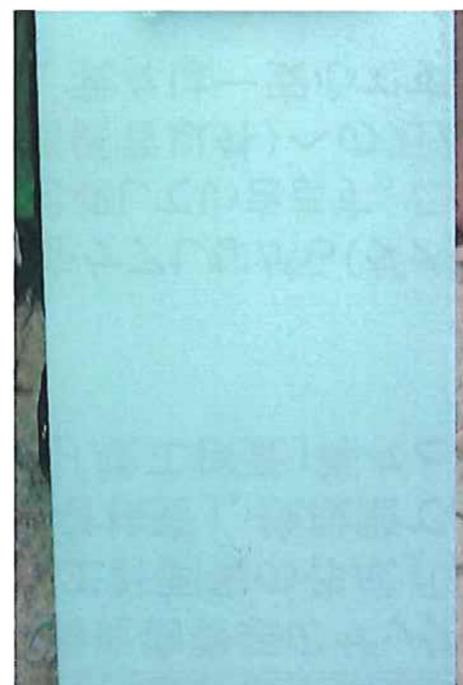
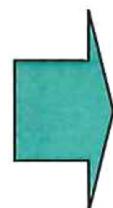


## ③ 下塗り

ケレン(素地調整)後、いよいよ塗りに入ります。塗りにもいくつか工程があり、一番最初の塗りがこの下塗りです。下塗りとは、上塗りと製品表面の間に塗膜の層を作る事により発錆を抑え耐久性を上げると共に、上塗りの食い付きを良くし、少しでもなだらかな塗面にする事で、上塗りの見た目を向上させる作業です。

## ④ 上塗り(中塗り)

下塗り後、上塗り(中塗り)に入ります。仕上がりの色をつけると共に美観を与え、また美観を維持するための耐候機能が求められます。これで塗装工事のメインイベントである「塗り」の工程は終了です。



# 仕事内容



ここまでの4工程が電力系鋼構造物塗装のザックリとした流れです。もちろん、この前段階では「発注者との打合せ」や「施工計画書の作成」「周辺地域への挨拶周り」、施工中であれば「各工程での自主検査と発注者検査」、後段階であれば「周辺地域への完了報告・挨拶」「発注者への竣工報告書の作成」「竣工検査」等々と本工事以外にも様々な作業・手続きがあります。

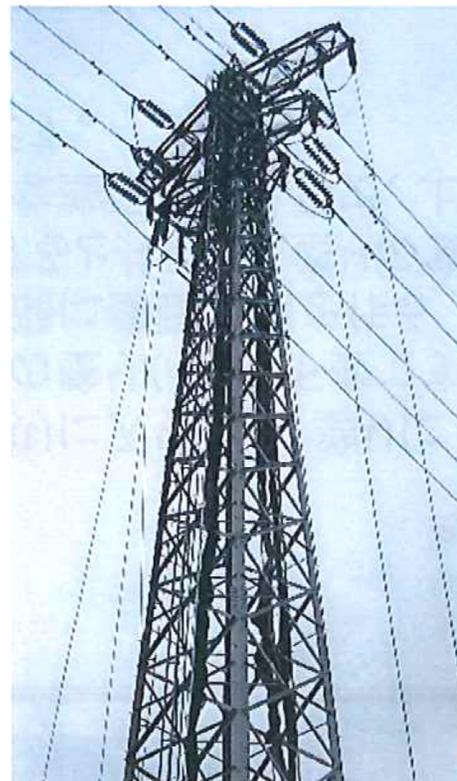
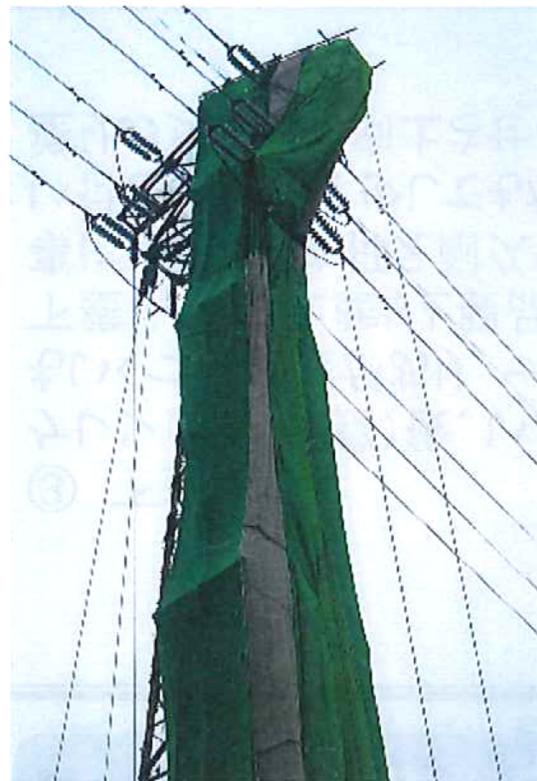


## ⑤ 飛散防護ネット回収

上塗り完了後、小さな塗り残しをケアしながら(ダメ拾いといいます)飛散防護ネットを回収していきます。この工程が終われば、第三者(工事関係者以外)への万が一の塗料飛散リスクもゼロとなり、我々は一安心です。

## ④ 完成!

完成です!ほら!こんなに見違えるような輝きを放っています。けして天気のせいではありません。



わかりましたか~



## ■塗装工事の施工管理とは

塗装工事の施工管理とは、請負形態(元請・下請)によらず請負った塗装工事全般を管理(マネージメント)してゆくことです。

具体的には、塗装対象構造物の立地調査、施工設計提案(塗装工事前の仮設工事の立案・工法提案・塗装対象素材にあった塗料の選択等)、また施工設計提案に基いた施工計画書の作成、資機材の手配、協力会社(作業員)の手配、指定の期日に竣工するための工程管理、工事関係者や第三者への安全対策や環境対策、工事に必要な官庁手続き等々を発注者との折衝のもとに行なっていきます。

当社では大きく分けて、「建築塗装部門」「鋼構造物塗装部門」「プラント等設備塗装部門」「アスベスト対策工事部門」があり、それぞれに特化した「色使いの知識・技能」をもって上記のような業務をこなしています。

よって、塗装対象構造物にもよりますが、建築塗装であれば「大規模改修工事」時には電気事業者との工程的な絡みも出てくるように、さまざまな他業種との絡みが避けられない当社の塗装工事に携わる社員には、土木・電気・建築・機械などの基礎的な知識のほか、情報処理、環境、安全、労務や、一般教養、社会的常識、人格など人間的にバランスのとれた総合能力を要求されます。



## ■ 施工管理職の仕事内容とは

では、実際に当社の社員の仕事を具体的にご説明しますと・・・まず、発注者との打合せを経て現場踏査を行ないます。これから得た現場の情報をもとにどのような工法や塗料選択がベストかを決定してゆきます。

この後、当社からの施工方法提案を発注者に対してプレゼンを行ない、承諾が得られれば提案施工方法を施工計画書(発注者や協力会社に対して工法をよりわかりやすく理解してもらう為の資料)に落とし込みます。(施工計画書は当社請負形態が下請の場合は作成しません)



施工計画書に対する発注者の承認が得られれば、いよいよ本工事のスタートです。立案した工法・工程のもと足場・防水・塗装・その他付帯する工事に応じた複数の協力会社(作業員)を施主および発注者の求める施工品質と安全品質に向けトータル管理し、塗装対象構造物に輝きを取り戻します。

マンションやオフィスビルの大規模改修工事ともなれば工期も3ヶ月超と長くなるものもあり、複数の工程を複雑にラップ管理して工期短縮に奔走するなどの苦労はありますが、輝きを取り戻した完成物件を見上げた時には苦労以上のやりがいと面白さがこみ上げてきます。



## ■ 職場環境について



大東企業における塗装・防水・リフォーム工事の主なステージは首都圏市街地です。したがって、事務所からの通いの現場が多くを占め、マンション・オフィスビルの大規模改修工事現場でも簡易な事務所を現場に置き、オフィスワーク（施工計画書・官庁書類・発注者への報告書等々の作成）は本社工事部スペース（左写真参照）で行なうスタイルとなります。

鋼構造物塗装（発送電・橋梁関係）では現場が本社工事部オフィスから遠方の場合に関り、現場近くで宿舎を設け、これを現場事務所兼宿舎として活動することもあります。

工事期間は現場規模によりますが、短期では1週間程度から長期で3ヶ月くらいが標準的な工期です。

入社から2～3年は配属部門の上長の指示のもとで塗装工事の施工管理ノウハウを吸収しつつ施工に必要な資格取得に努めてもらいます（資格取得費用全額会社負担）。

その間は様々な経験を短期間で積んでもらうため、各部門の上長間での労務調整により、着任している現場の繁忙ピークを過ぎると「より忙しい他現場」へ配置転換することもあり、勤務地は関東圏内で常に流動的です。

★勤務地・・・今回は本社採用ですので本社管轄エリア（関東圏限定）



## ■ 最後に・・・

塗装工事という仕事は、正直に言って「楽な仕事ではありません！」  
しかし、日本のインフラの寿命を延ばし且つ周辺環境との調和に最適な配色を施す「色使いの知識と技能」で社会に貢献している

**「ヤリガイのある仕事です！」**

また、当社の特徴として、様々な塗装工種にいち早く対応し得る技術者となってもらうために充実した資格取得制度を用意し、OJT(On-the-Job Training)による若手社員の継続育成体制も整っています。

**そんな大東企業で、みなさんもぜひ、「配色のマジシャン」になってみませんか！！**